
勇気

真貴人

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

勇気

【Nコード】

N0476D

【作者名】

真貴人

【あらすじ】

高校受験に失敗してから、引き籠って2年ちよつと……。その間、親とはマトモに話していない……。好きな時間に起きてはパソコンに向かい、オンラインゲームに没頭する日々……。何の疑問も感じなかったんだ……。

高校受験に失敗してから引き籠って2年ちよっと・・・。

その間、親とはマトモに話していない・・・。

好きな時間に起きてはパソコンに向かいオンラインゲームに没頭する日々…。

何の疑問も感じなかったんだ・・・。

そんな有る日・・・

いつもの様に深夜までオンラインゲームに没頭している彼。

「よし。もうすぐ2次職に就けるぞ・・・。」

時刻は既に午前1時を過ぎていた

「このガーゴイルを倒せば・・・」

その時・・・

「きゃあああああああああ」

女の声と思われる悲鳴が聞こえた

「え、なんだ・・・今の・・・」

「ちよつとROMるね。」

ゲーム内の仲間にそう告げ、窓を開ける彼。

すると、見るからに不良と言った雰囲気の男二人と、
女子高生二人が対峙してゐるではないか…。

「・・・ど、どうしよう。」

言葉とは裏腹にそれほどの危機感を感じては無かった。

長い間の引き籠り生活により、『普通感覚』を失っているのだろ
う・・・。

とりあえずどうして良いか分からず、
オンラインゲームの仲間に相談する彼。

「まじ？何それ？」

「急に面白いネタ言うなよカインwwまあ、通報じゃね？w」

「そんな事より早く狩りしようぜ」

面白半分に戻ってくるレス。当たり前と言えば当たり前だ。

所詮彼らにとっても他人事なのだし、知ったことでは無いのだから・

。。。

「そうだね・・・狩り、続けようか・・・」

「でも、一応通報しといた方が良くないか？」

一番信頼できる仲間にそう言われ、
止むを得ず親に通報を頼む彼・・・。

彼は一応携帯電話は所持していた。だが、自ら掛けようとは思わなかった・・・。

面倒に関わるのがごめんだっただ・・・。

何より、誰かと『直接』話すのが嫌だっただ・・・。

「って分けなんだよ・・・。」

「・・・」

父親は憐憫と疑惑の目を向けている。

2年ぶりの会話がこんな形はなんと皮肉なのだろうか・・・。

「わかった・・・」

そう言っ父は視界の前から消えた・・・。

まるで彼を、生ゴミでも見るかの様に軽視する・・・。

「よし、俺の出来る事はやった。ゲームだゲームだ・・・。」

だが 父は通報などはしていなかった・・・。

彼は、親にも見捨てられていたのだ・・・。

親にも信じてもらえなかったのだ・・・。

後日 その女子高生の一人はレイプされたショックから自殺した・

・

もう一人の女子高生はその時の恐怖から外に出られなくなったらしい・・・。

一日中意味不明な事を呟いてるらしい・・・。

彼がもっと早く通報していれば助かったかも知れない・・・。

彼が少しの勇気を出していれば・・・。

「よしやゝ。ドラゴン倒したぜ！」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0476d/>

勇気

2010年11月2日20時57分発行